

12 Interhemispheric trans-lamina terminalis approach にて摘出した第3脳室腫瘍の1例

山田 潔忠・赤坂 雅弘（山形県立日本海病院）
遠藤 広和（脳神経外科）

視交叉症候群で発症した第三脳室腫瘍を interhemispheric trans-lamina terminalis approach で亜全摘した一例を報告する。

症例は55歳、男性が平成12年春頃より両側視力低下を来し、眼科で両側視神経萎縮と両耳側半盲を指摘された。平成12年12月4日当科入院した。視力は右0.7, 左0.8で下垂体ホルモンは正常。CTでは第三脳室を占める嚢胞性腫瘍が認められ、壁には石灰化がみられた。MRIでは腫瘍はトルコ鞍内より連続性に第三脳室内へ伸展しており、壁がCEを示していた。視神経は上方へ圧排されていた。頭蓋咽頭腫を考え、手術を施行した。

【手術】interhemispheric trans-lamina terminalis で approach した。視神経は腫瘍で圧排され紙状に薄くなっていた。lamina terminalis を穿刺し4mlのxanthochromic な Froin (-) の液をえた。Acomの上方のlamina terminalisを切開し、第三脳室内の嚢胞性の腫瘍を摘出した。prechiasmatic cisternからも摘出した。腫瘍は第三脳室の上方と後方には癒着はなく、両側の側面と硬く癒着していた。この部は一部残して亜全摘を行った。病理診断は下垂体腺腫であった。術後は軽度の記憶力障害が出現した。下垂体ホルモンは正常。視力は右0.1, 左0.9, であった。

【考察】第三脳室内腫瘍への approach には後方からは parietooccipital transsplenic, occipital transtentorial approach が又前方からは transcortical transventricular, interhemispheric trans-lamina terminalis approach などがある。この症例では腫瘍がトルコ鞍内から発生しているため鞍内を観察できるように lamina terminalis 経由で approach した。本例は術後記憶力障害が出現したが、これは cingulate gyrus, septal area の両側性の損傷を避ける事により防止できる。本例では左側の medial surface への圧排は極力避けたが十分でなかったため軽い記憶力障害が出現した。

13 側脳室 Subependymoma の1手術例

森 修一・源甲斐信行
長谷川 仁・鈴木 健司（水戸済生会総合病院）
早野 信也（脳神経外科）

Subependymoma は、比較的稀な腫瘍で脳腫瘍手術症例の約0.9%, 剖検では0.1~0.5%といわれている。今回我々は、頭痛精査で発見され anterior transcallosal approach にて全摘し得た側脳室 subependymoma の1例を経験したので報告する。

症例は43歳男性。家族歴・既往歴に特記事項なし。平成12年5月頃から頭重感や左半身のシビレ感を自覚。近医を受診し、CT・MRI検査で脳腫瘍を指摘された。平成12年11月27日当科での治療を希望し来院。神経学的には自覚的左半身知覚異常の他には所見なし。MRIではT1 imageでやや low intensity, T2 imageで homogeneous high intensity を示し、Gadtrinium で全く造影されない腫瘍が左側脳室内を充満しており脳室拡大も伴っていた。脳血管撮影では腫瘍陰影はなかった。平成13年1月16日摘出術施行。手術は anterior transcallosal approach にて行った。腫瘍は白色・弾性軟で境界明瞭であり脳室壁や脈絡叢との癒着も殆どなかった。超音波吸引装置などを用いて腫瘍を全摘した。腫瘍発生部位は左モンロー孔上部の脳室壁であった。組織学的検査では subependymoma であり、術後経過は良好で神経学的脱落症状なく退院した。

Subependymoma は、比較的稀な脳室内腫瘍である。発生部位は第4脳室に最も多く、次いで側脳室、透明中隔とされている。組織学的には、腫瘍組織は全体に細胞に乏しく疎な構造を示し、acellular fibrillated matrix の中に細胞の cluster を認め pseudorosette もみられ、腫瘍細胞は GFAP 陽性の astrocyte が目立つとされている。予後は一般的に良好で長期生存例も多数報告されている。鑑別診断には central neurocytoma, ependymoma, oligodendroglioma などがあげられる。